

第 34 回全日本実年ソフトボール大会
第 18 回中ブロック実年ソフトボール大会
大阪府予選会 大会要項

- 1 主 催 大阪府ソフトボール協会
- 2 主 管 大阪 R S 協会
- 3 会 期 令和 7 年 6 月 22 日（日）、29 日（日）、7 月 6 日（日）〔予備日 7 月 13 日（日）〕
- 4 会 場 和泉市、和泉市立光明池緑地運動場（6/22、6/29）
南河内郡、千早赤阪村民運動場（7/6、予備日 7/13）
- 5 参 加 資 格 大阪府内に居住または勤務する 50 歳以上（当該年度 4 月 1 日現在）の男子で編成された（公財）日本ソフトボール協会に支部を通じて令和 7 年度の加盟登録をした実年チームで各支部 1 チームに限る。
 - ・所属長が身体、人物ともに適当と認めた者。
- 6 チーム編成
 - ・ベンチに入る人数は、以下の本大会登録人数とする。
 - ・監督 1 名
 - ・コーチ 2 名
 - ・スコアラー 1 名
 - ・選手 25 名以内
 - ・選手の健康管理ができる者として、トレーナー 1 名のベンチ入りを認める。
 - ・外国人選手がいる場合は通訳 1 名のベンチ入りを認める。
- 7 出 場 資 格
 - ・本大会の出場チームは、支部の予選または推薦を経て出場権を得たチームに限る。
 - ・本大会参加申し込み以降のメンバー変更は認めない。
 - ・監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をすること。
 - ・監督またはコーチは次の①～③のいずれかの資格を有すること。ただし監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者（監督代行になり得る者）がいなければならない。
 - ① 公認コーチ 1～4
 - ② ソフトボールスタートコーチ
 - ③ 公認準指導員（令和 4 年 3 月 31 日をもって制度は廃止）
 - ・指導者資格保持者は、指導者登録証等および本人確認を行うための身分証明書を携帯し、また試合中はベンチ内にいなければならない。
 - ・スコアラーは公式記録員の資格を有すること。
- 8 申 込 方 法 出場資格を得たチームは、参加申込書に必要事項を明記の上、各関係の*認印を受け、6 月 6 日（金）16 時まで下記宛に申し込むこと。
 - *支部選出理事を通じて提出する場合は押印不要
 - ① 大阪府ソフトボール協会 事務局
Email : sf-osaka@juno.ocn.ne.jp

住所：〒543-0042 大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻 1-3-23-401

送付物（データ）：参加申込書押印の用紙、プログラム掲載用選手名簿、指導者資格登録証、日ソ登録名簿（A表 B表）

所属支部協会が保存する日ソ登録名簿（C表）と参加申込書の照合(選手の住所は大阪府下に限る)確認を受けること。

9 参 加 料 1 チーム 20,000 円

10 登 録 料 日本ソフトボール協会チーム登録料 10,000 円

個人登録料（選手・監督・コーチ）×1,000 円

参加料・登録料は締切日までにチーム名でお振込み頂き、振込手数料はチーム負担ください

☆ 郵便振替 記号・番号 00910-9-176105

☆ ゆうちょ銀行（当座）〇九九店 番号0176105

口座名義 大阪府ソフトボール協会

11 競 技 規 則 2025 年度オフィシャルソフトボールルールによる。ただし次の大会特別ルールを採用する。

1. フィールドイングは行わない。
2. 試合時間は 80 分とし、80 分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間内で 7 回を終了し同点の場合は、次イニングよりタイブレークにより試合を続行する。ただし、タイブレークは 2 イニングまでとし、なお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。ただし、80 分を過ぎて同点の場合は抽選とする。
3. 3 回 15 点、4 回 10 点、5 回以降 7 点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。

決勝戦

1. 試合時間は 80 分とし、80 分を過ぎて新しいイニングに入らない。
2. タイブレークにより試合を続行する。

12 試 合 球 （公財）日本ソフトボール協会検定ゴム製 3 号球[内外ゴム株式会社製]とし主催者が準備する。

13 試 合 方 法 トーナメント方式

14 表 彰 ・優勝チームに賞状を授与する。
・準優勝チームに賞状を授与する。
・3 位チームに賞状を授与する。

15 組 合 せ 抽 選 試合の組み合わせは 6 月 14 日（土）19 時 15 分より[大阪市立社会福祉センター 1 階第 7 会議室]においてチーム代表者抽選会によって決定する。

16 監 督 会 議 行わない。

17 審 判 ・ 記 録 大阪府協会所属の公認審判員、公式記録員があたる。

18 開 会 式 行わない。

19 保 険 主催・主管者は大会中の事故・傷害について応急処置の他は一切の責任を負わない。大会参加者は、健康保険書を持参し、スポーツ傷害保険等に参加しておくこと。

21 そ の 他 1. 出場チームは必ず監督によって引率され、選手の全ての行動に対し責任を負う

ものとする。

2. 試合開始予定 1 時間前には受付を済ませ試合開始予定 30 分前までにオーダー表を試合会場本部へ提出すること。
3. 優勝チームには第 34 回 全日本実年ソフトボール大会への出場権を与える。
(9 月 6 日 (土) ~9 月 8 日 (月) 福島県会津若松市・喜多方市)
4. 準優勝チームには第 18 回 中ブロック実年ソフトボール大会への出場権を与える。(10 月 25 日 (土) ~26 日 (日) 福井県)
5. 3 位チームには第 34 回 近畿実年ソフトボール大会への出場権を与える。
(10 月 11 日 (土) ~12 日 (日) 和歌山県紀の川市)
6. 本大会の試合を協会HP、SNS 配信することがある。
7. 雷鳴がかすかでも聞こえたら直ちに試合を中断する。
8. その他詳細については、支部選出理事を通じて参加チームに連絡する。
9. 荒天時の試合催行可否の態度決定は 7 : 0 0 とする。

22 問 合 せ 先 大阪 RS 協会 理事 鶴野 利也
TEL 090-8216-0108